

安全への決意を胸に―消防出初式

1月6日、勾当台公園市民広場と市役所本庁舎前で、新春恒例の消防出初式が行われました。式には、消防職員や消防団員、婦人防火クラブの方など約1200人が参加しました。

式典に続いて、カラーガード隊のドリル演技や市内七つの消防団による伝統階子乗りが行われました。階子乗りでは、高さ7メートルもの階子の上で仰向けになり、両手を離すなどの妙技が披露され、観客から大きな歓声が沸き起こりました。

そのほか、特別機動救助隊等の訓練や消防車21台による一斉放水などが披露され、仙台の安全・安心を守る心意気があらためて示された1日となりました。

◎平成26年は、火災件数・救急車出動件数が共に増加
消防局がまとめた平成26年火災・救急概況（速報値）によると、火災件数は前年比26件増の334件、火災による死者は8人増の17人となりました。

出火原因は放火（疑いを含む）が80件で最も多く、以下たばこを原因とする出火が41件、こんろからの出火が34件でした。

一方、救急車の出動件数は1513件増の4万7184件。搬送人員は1302人増の4万8137人でした。



伝統階子乗りの披露。法被をまとった団員たちが、心一つにして、大技を次々に決めました

二十歳の門出を祝福―成人式開催



誓いの言葉を述べる新成人代表

1月11日、仙台市体育館で成人式が行われ、華やかな晴れ着を身にまとった新成人たちが、大人としての決意を新たにしました。

今年成人式を迎えたのは、平成6年4月2日から平成7年4月1日生まれの方で、本市の新成人は、昨年より478人多い1万1297人です。

第1部の式典では、奥山市長が「皆さんのこれからの人生が心豊かなものとなり、また、震災で得た『共に前へ進む』という思いが新しい仙台を切り開き、未来へつながっていくことを心から願います」とメッセージを贈りました。また、新成人を代表して、佐藤圭

4月から庁舎内が禁煙に

たばこは、吸う本人だけでなく、周囲の人も煙を吸ってしまう「受動喫煙」により、健康に影響を受けることが問題となっています。

市は、受動喫煙の防止を進めるため、4月1日から、市役所本庁舎・北庁舎・分庁舎、区役所・総合支所庁舎、消防局庁舎、水道局庁舎、交通局庁舎、ガス局庁舎等を、原則として屋内禁煙とし、屋外に新しい喫煙場所を設置することとしました。

皆さんのご理解とご協力をお願いします。

復興へ駆ける

感謝と教訓を世界へ発信

仙台市長

奥山恵美子



2月如月の声を聞き、日脚が伸び、寒さの中にも春の訪れが近いことを感じる今日この頃です。誘致の決定から21カ月。準備を進めてきた第3回国連防災世界会議が、いよいよ来月に迫りました。

国連加盟の193の国・地域が集まるこの会議。国内外から延べ4万人以上の参加が見込まれ、東北で開かれる国際会議としては過去最大級のもの。会議は、今後の世界の防災戦略を決める本体会議のほか、一般市民の方々にも参加いただける講演会や展示等のパブリック・フォーラムと、スタディツアーや各種おもてなし等の歓迎・情報発信事業の三つの部門で構成されます。

国連は今回、環境に優しい会議を実現するため、会議で使用される紙の5割削減など会議活動に伴う環境負荷の低減を大きな目標としています。タブレット端末の貸し出しや電子資料の配信が予定されているほか、コミュニティサイクル「ダテバイ

ク」も各会場間で無料で運営することとなっています。環境先進都市として実績を積み重ねてきた本市としても、ぜひ、こうしたグリーンな会議として、今後のモデルとなるような運営を実現していきたいと思えます。

また、パブリック・フォーラムの企画数が多いのも今回の特徴で、10年前に神戸で開催された第2回会議の5倍以上となる約350件となっています。避難所運営で力を発揮した町内会、自らも被災しながらがれき撤去に立ち上がった地元企業、全国の支援を地域の経済再生につなげた商工会議所のネットワーク、被災地のニーズにきめ細かに応えてきたNPOやボランティア等々。多くの方々が、震災の経験や教訓を世界へ発信し、共有していきたいという願いを抱いているからに違いありません。

世界中からの支援への感謝を胸に、世界の防災文化の向上に向けて、私たちの思いや願いをしっかりと世界へ発信してまいります。

震災復興メモリアル等検討委員会の報告書が提出されました



宮原委員長（左）から奥山市長に報告書が手渡されました

震災の脅威と復興の歩みを後世に伝える取り組みを検討する震災復興メモリアル等検討委員会の最終会合が、昨年12月25日に開催され、委員長の宮城大学事業構想学部教授・宮原育子氏から、報告書が提出されました。

平成25年7月に発足後、10回の会議を重ねて検討された報告書には、世代が替わっても災害から命を守るように、記憶と経験を未来につなぐために「東部地域におけるみどりの再生」「貞山運河の再生と利活用」「モニユメントと遺構による記憶の継承」「市民力によるアーカイブの整備と利活用」「文化・芸術の力を復興と記憶の継承に生かす」「知り学ぶ機会を

危機管理室Twitterを ご活用ください

市では、災害時に市民の皆さんへの情報伝達手段の多様化を図るため、短文投稿サイト「危機管理室ツイッター」を開設しました。パソコンやタブレット端末、スマートフォンでご覧いただけます。スマートフォンでは、気象警報や津波警報など緊急性の高い情報を音や振動でお知らせする「アラート」機能を設定できます。

ぜひご活用ください。

主な情報発信項目

- 気象警報、津波警報、避難情報、震度情報、大雪・台風などの注意喚起、防災イベント等

◆仙台市危機管理室Twitterページ：https://twitter.com/sendai_kiki/

